

～ 10月24日から10月26日の 楽しかった 離島体験 ～

5年生16名が、平成30年度沖縄県離島体験交流促進事業を受け、10月24日から2泊3日の宮古の多良間島での民泊交流体験を行いました。この事業は、離島地域の活性化を図る目的として行っているもので、本島の児童を離島に派遣し、地域の人々や地元小学生との交流のもと、体験学習や民泊を実施するものです。沖縄は広大海域に160も島が点在し、そのうちの47島に人が住んでいます。今回本校の5年生は、宮古島からもうちょっと離れた多良間島に行きました。その様子を紹介します。

稲穂



教育目標

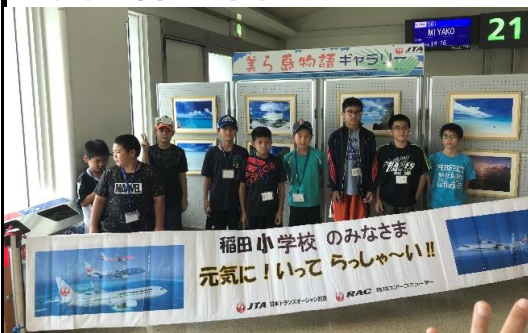
- 進んで学習しよく考える子
- 仲良く、はげまし合う子
- 健康で、たくましい子



全校生徒でお見送り 羨ましかる子どもたち



大型バスで空港へ



空港でもJTAからの横断幕が・機内放送でも紹介されました。

1日目 学校→那覇空港→宮古空港→多良間空港→村役場→各家庭

2日目 体験プログラム1:しままーり →多良間小学校で交流会 →体験プログラム2:パナパンピンづくり→各家庭へ



しままーり



離島体験で学んだこと・成長したこと・・・児童ふり返りより

- お手伝いすること・あいさつすること・みんな仲良く すること
- 機敏に行動すること・あいさつあいさつ
- 友達のこと・他人との関わり・コミュニケーション力を伸ばしていきたい
- 手伝いは自分から進んでやること・敬語で話すことやヒトの話をしっかり聞くこと
- お料理がいっぱいできたこと・敬語、あいさつ礼儀を伸ばしていきたい
- あいさつの大切さと敬語の大切さ
- 明るいあいさつと話を聞く姿勢を伸ばしていきたい
- * 体験活動の様子は、宮古の2紙にも掲載された
- * 明るいあいさつと言葉づかい・・・学校課題として指導強化していきます。



パナパンピンづくり 塩味ではまります

7